

令和２年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立生涯学習センター
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。
業務の概要	(１) 生涯学習事業に関する業務 (２) 施設の使用許可に関する業務 (３) 建物及び附属設備の維持保全に関する業務 (４) 施設の総合管理に関する業務 (５) 施設の安全確保に関する業務
成果指標	貸室利用者満足度／事業参加者満足度／貸室利用率
数値目標	貸室利用者満足度：80％以上／事業参加者満足度：80％以上／貸室利用率：各館70％以上
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体 【構成員】 (一財) 大阪教育文化振興財団 サントリーパブリシティサービス（株）
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(阿倍野市民学習センター:令和2年6月1日～令和7年3月31日)
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(阿倍野市民学習センター:令和2年6月1日～令和3年3月31日)

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室利用者満足度	事業参加者満足度	利用率
数値目標	80％以上	80％以上	各館70％以上
年度実績	平均97.2%	平均91.9%	平均50.6%
達成率	121.5%	114.9%	72.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	207,243	565,304	-358,061
利用率	50.6%	74.2%	-23.6%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	219,255,497	130,249,816	84,657,927	感染症拡大による施設利用の減少及び事業の中止等に伴う補填分
	計画	134,597,570	127,504,096		
利用料金収入	実績	49,754,595	146,716,950	-102,780,255	感染症拡大にかかる臨時休館や時短制限等に伴う施設利用の減少及び事業の中止等に伴う減
	計画	152,534,850	168,045,500		
その他収入 （自主事業収入）	実績	16,810,945	32,962,022	-16,809,155	感染症拡大防止のための休館や時短制限に伴う事業中止等による減
	計画	33,620,100	33,745,400		
合計	実績	285,821,037	309,928,788	-34,931,483	
	計画	320,752,520	329,294,996		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	166,632,527	168,673,176	-9,326,773	効率的な業務執行体制の構築、超過勤務の縮減 など
	計画	175,959,300	174,990,888		
物件費	実績	106,341,542	127,021,021	-13,241,978	感染症拡大防止のための休館や時短制限に伴う備品の更新、設備等の修繕等の節約に係る経費の減
	計画	119,583,520	130,581,708		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	12,846,968	19,314,543	-12,362,732	感染症拡大防止のための休館や時短制限に伴う事業中止等による減
	計画	25,209,700	23,722,400		
合計	実績	285,821,037	315,008,740	-34,931,483	
	計画	320,752,520	329,294,996		

4 管理運営状況の評価（1次評価）令和2年度 指定管理者年度評価シート

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室利用者満足度80％以上	121.5％	S	貸室利用者アンケートにおいて、施設利用の満足度に関する設問に「満足」「おおむね満足」と回答した割合は合わせて97.2％
事業参加者満足度80％以上	114.9％	A	事業参加者アンケートにおいて、事業の満足度に関する設問に「大変良かった」「良かった」と回答した割合は合わせて91.9％
貸室利用率：各館70％以上	72.3％	C	感染症拡大の影響による臨時休館及び時短制限に伴い利用率が減少し、3館平均年間利用率は70％を下回った。（50.6％）

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
効率的な業務執行体制の構築による人件費の抑制、講師謝礼金の見直しによる事業費の節減など、当初計画より支出を縮減（補填以外：約3,500万円縮減）	B	感染症拡大による施設利用の減少及び事業の中止等による収支差を基本協定書の取扱いに基づき市費で補填。補填額分の市費が増加したが、補填以外では、支出の縮減をしており、感染症拡大の影響を考慮した

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	適切に施設管理がなされており、個人情報保護のための手順や職員への研修、緊急時の連絡体制の整備も定められたとおりに行われている。令和2年度はこれらの管理運営事項の遂行と合わせて、感染防止対策を細やかにとりつつ、利用者の利便性を損なわないよう努力のあとが伺えた
事業計画の実施状況	A	感染症拡大防止にかかる臨時休館や時短要請等の厳しい状況にも関わらず、事業計画書及び協定書、仕様書に則りオンラインに切り替える等により求められた水準で実施できている
施設の有効利用	S	感染症拡大防止にかかる臨時休館や時短要請等の厳しい状況にも関わらず、地域の生涯学習活動の支援として活動情報を発信するなど、施設機能に即した事業が適切に実施されている
社会的責任・市の施策との整合性	A	障がい者雇用の取組みや団体策定の保護規程に基づく個人情報の保護、人権研修をはじめ各種職員研修の実施など、社会的責任を十分に果たしている。また、環境保護対策もしっかりなされている

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者ニーズ・満足度等の把握】
・貸室利用者アンケート：11月に館ごとに実施。（各館の有効回答数 総合：304、阿倍野：137、難波：166 計607）
・事業参加者アンケート：事業ごとに実施。（各館の有効回答数 総合：1,766、阿倍野：1,015、難波：1,183 計3,964）
・貸室利用者アンケートでは、施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」が合わせて97.2％、事業参加者アンケートでは、事業の満足度は「大変良かった」「良かった」が合わせて91.9％と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている。

6 外部専門家意見

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、利用率や事業実施数の減少に伴い利用料金収入については大きな打撃をこうむったが、その中で、事業については極力開催するよう、オンラインでの実施等へ柔軟に移行していくなどの工夫と努力が伺える。
・利用者満足度について、貸室利用者・事業参加者ともに非常に高く素晴らしい。
・NPOや市民団体を対象とする講座「オンライン講座開催のコツ」など、生涯学習センターでの実践で培ったノウハウを提供することによって、生涯学習の施策をさらに普及させようとしているあたりは、まさに施設の存在意義として素晴らしい活動である。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	利用率は感染症拡大の影響を受け(夜間利用時間短縮等)目標値を下回ったが貸室利用者・事業参加者とも高い満足度を示しており目標値を上回っている。
市費の縮減	B	感染症拡大の影響(臨時休館や利用料半額減免等)による多額の減収が発生し、その他の面で経費縮減に努めてはいるものの市費による補填をせざるを得ない状況となった。
管理運営の履行状況	A	・感染症拡大の影響を受けながらも、事業の実施方法を工夫し、なるべく実施できるよう努力している。 ・感染症対策や臨時休館時の利用者への連絡など、新たに発生した業務にも真摯にとりくみ高い満足度を維持している。 ・施設の設置目的をよく理解し、本市が生涯学習施設に求める社会的責任を十分に果たしている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	